

Enepro21 Regularでは、各月最大31パターンの熱電負荷を作成できますが、パターン数が多いほど運転計画の設定や結果分析が煩雑になります。

EALP21は、1年間の実測負荷（BEMS）データを自動で分類し、シミュレーションに最適な「平均負荷」を効率的に作成できます。

### 機能

#### ● 読込データの自動グラフ化

異常値や欠損データを視覚的に把握しやすく、必要な修正を迅速に実施できます。

#### ● 往還温度差の可視化

供給流量計算の根拠となる往還温度差を可視化することで、異常値の検出や温度差の傾向把握を容易にします。

#### ● 年間負荷データを6種類の方式で自動分類

カレンダー情報や負荷日量に基づき、1年分の負荷を自動で分類します。

自動分類方式はユーザーが自由に選択できます。

#### ● イベント日・特殊日の手動編集

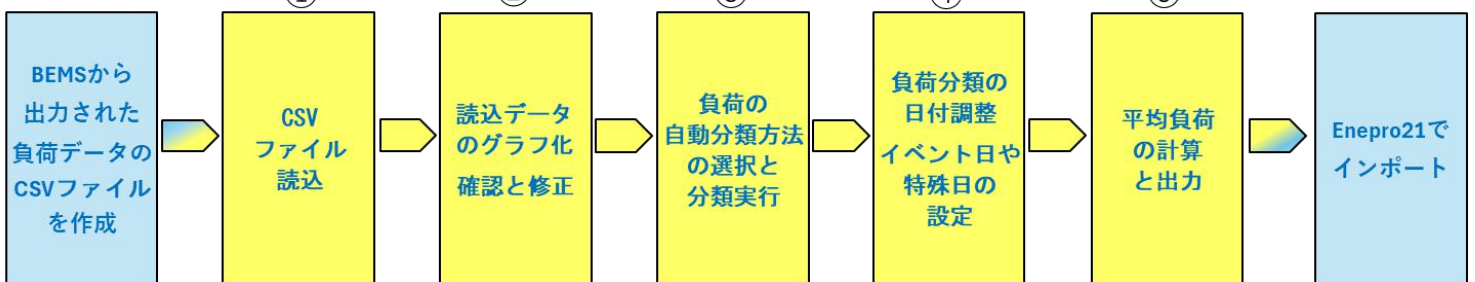
自動分類後、運用実態に合わせてイベント日・特殊日として柔軟に調整できます。

#### ● Enepro21との連携

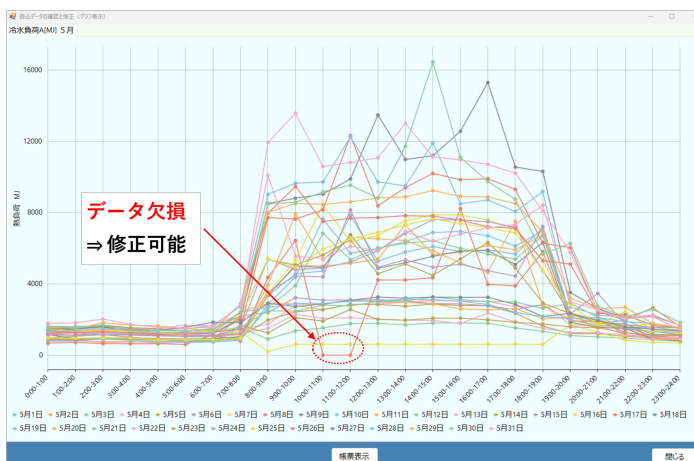
作成した平均負荷は、Enepro21へそのままインポート可能です。

### 平均負荷作成プログラム EALP21

Excelフォーマット  
を利用して作成

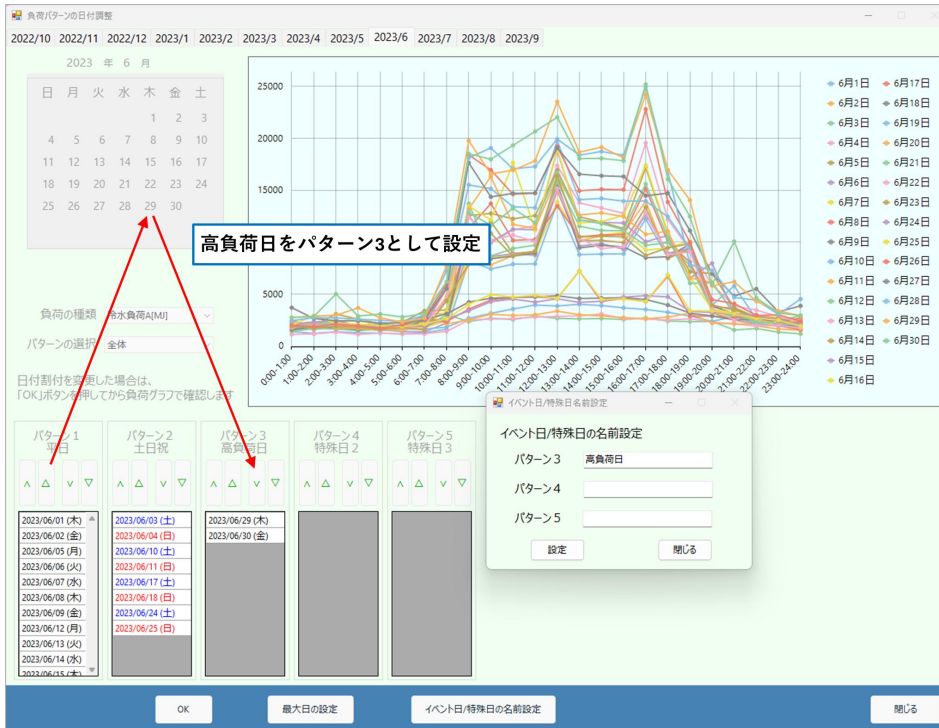


#### ② 読込データのグラフ化 確認と修正



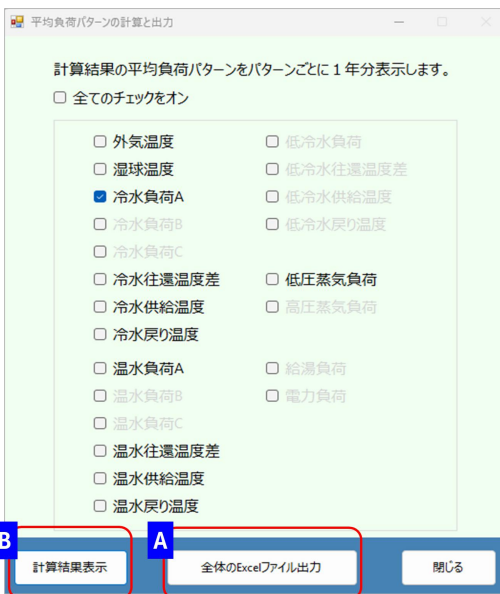
#### ③ 負荷の自動分類方法の選択と分類実行

#### ④ 負荷分類の日付調整 イベント日や特殊日の設定



選択した基本分類に基づいて日付が自動で仕分けされ、その結果をグラフで確認できます。さらに、必要に応じて日付の割り付けを手動で調整できます。

#### ⑤ 平均負荷の計算と出力



**A** 「全体のExcelファイル出力」ボタンをクリックすると、Enepro21RegularでそのままインポートできるExcelファイルを生成します。1つの負荷パターンについて、Enepro21Regularが扱う19項目のデータと対象日付を1つのシートにまとめて出力します。

**B** 「計算結果表示」ボタンをクリックすると、各項目の平均化されたパターンを確認できます。下図は、冷水負荷Aの出力例です。

